

平成26年度就職セミナー開催。

[平成26年11月15日・16日]

恒例となりました佐世保就職セミナーが平成二十六年十一月十五日(土)・十六日(日)、学生百五十名、OB四十名参加のもと大学内で開催されました。

真剣な表情で質問に答える学生たちに、OBも自分たちの力の限りエールを送りました。

優秀な後輩たちが社会人として世の中に大きく羽ばたいてくれることを願ってやみません。



体育館一杯のブース



講師陣も真剣に



学生たちの真剣な顔が魅力です。



多くのOBが駆けつけてくれました。

昨年参加の学生から嬉しい言葉が届きました。

相手に熱意を持って訴えることの難しさを実感。



経済学科4年 山根 一真

佐世保就職セミナーに参加し、就職活動における様々な指導をいただきました。就職活動を始める前にセミナーに参加できたことで大きな自信につながり、たいへん実りのある二日間でした。

初日の面接指導では、緊張し相手に伝えたいことを上手に言うことができたことで、自信が湧き、的確な指摘と優しく丁寧な指導をしていただいたおかげで、きちんと意見をまとめることができたことに、成長を実感することができました。

セミナーに向けて、事前準備はしていましたが、業界研究や自己分析が足りないうことが分かり、反省することができました。また、情報交換の場を設けていただき、先輩方のお話を聞く事ができたので、より目標としている業種への思いが強くなりました。

二日間のセミナーを終えて、相手に熱意を持って訴えかけること、面接対応の難しさを実感しました。経験しないと気が付かなかった「言葉遣い、姿勢、マナーの重要性」、質問への突発的な対応を学ぶことができました。また、就職活動に真摯に取り組むはじめるきっかけになったとともに、周りの友達との意識も変わったと思います。このセミナーに協力していただいた先輩方への感謝を忘れず、これからの就職活動に全力で取り組みたいと思います。お忙しい中、お時間をいただき本当にありがとうございました。

落ち着いて受け答えができるようになりました。



流通・経営学科4年 松尾 万葉

佐世保就職セミナーは、就職活動のスタートとして、とても良いセミナーでした。セミナーに参加するまでは就職活動に対する意識も低く、セミナーの前日までに自己PRを暗記することしかしていませんでした。しかし、セミナーに参加して、企業研究の大切さを教えていただき、自分はまだまだ企業研究が足りないと感じました。

面接指導では、自分の伝えたいことがうまく伝わらず、最初は落ち込みました。しかし、OBの皆さんが親身になって優しく指導をしてくださったおかげで、二日目からは、少しずつ言葉のキャッチボールができるようになり、初日より落ち着いた受け答えができるようになりました。また、個人面接、集団面接、グループディスカッションと様々なパターンの面接練習ができ、とても良い経験になりました。

今回のセミナーに参加して、本当に良かったです。最初は不安でいっぱいでしたが、OBの皆さんが、休憩時間などにも気さくに話してくださったため、不安なく面接に取り組むことができました。OBの方々に頂いた貴重なアドバイスを忘れずに、これからの就職活動に一生懸命取り組んでいきます。お忙しい中、本当にありがとうございました。

平成二十六年度は役員総会の年でした。

鵬友会理事 永嶋 圭裕 (平成元年度卒)

平成二十六年年度鵬友会役員総会が平成二十六年七月十九日(土)レオプラザホテル佐世保におきまして開催されました。各支部長、本部役員ほか総勢二十九名出席の下、澁谷会長が議長として選出され、議事が進行しました。

まず、平成二十五年度の活動報告、決算報告がなされ全会一致で承認されました。次に、各支部より活動状況の報告がありました。支部の活動をどのようにして会員に伝え、参加できる会員を増やしていくのか、という各支部が抱える課題に対して意見を申し合ふことで結論にこそ至りませんでした。有意義な意見交換となりました。

続きまして、平成二十六年年度の活動予定と予算の審議が行われ承認されました。

最後に、澁谷会長から慶弔規定の変更と大学の学部学科再編について報告があり、千北副会長からは各支部における支部活動の活性化取り組み強化への依頼を行い閉会しました。役員総会には、大学から古河副



学長始め七名の御臨席を賜り、総勢三十三名で行われました(残念ながら太田学長は公務による出張でした)。

澁谷会長の挨拶、古河副学長による来賓挨拶、そして石川経済学部長による乾杯ご発声により和やかに懇親会が始まりました。互いの学生時代を振り返る懐かしい会話が飛び交う一方で、役員総会で話のあった今後の学部学科再編の動向についての話、支部活動の活性化策など、杯を重ねるほど熱弁が交わされていきました。

鵬友会会報「おおとり」(Vol.28)発行に際しまして、会員の皆様にご挨拶申し上げます。

長崎県立大学同窓会「鵬友会」会員の皆様におかれましては、お変わりなく益々ご清栄にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、「鵬友会」の目的はその名のとおりに、会員相互の親睦を深め、母校の発展につくし、あわせて社会の発展に貢献することにあります。混沌とした国際情勢、政府・マスコミが

会長挨拶

鵬友会会長 澁谷 明幸



経済情勢の上向きを宣伝する一方でその恩恵をなかなか実感できない中、情報交換や親睦を兼ねて各地で催されている支部総会等は、益々重要になってきたと思われまふ。

会長に就任して以来、参加会員の若返り、支部活動の活性化をお願いしてきましたが、ここにきてやっとその兆しが見えてきたように感じられます。

会員の皆様におかれましては引き続き同級生・先輩・後輩に声を掛けていただき、同窓会活動の活性化にご協力いただき

おおとり

Vol. 28

発行

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会報

佐世保市川下町一三三(三大学内)
TEL/FAX 〇九五六一四七五二四六
フリーダイヤル 〇二二〇一四七九〇四四

関西支部

●支部長 星 憲夫 (47年度卒)
0972・2665・5750
(自宅)
大阪府西宮市大池1・27・7

金子順興君を偲んで

私の記憶が間違っていないければ、昭和四十八年三月に卒業して以来、金子君と再会したのはあの阪神・淡路大震災の翌年(平成八年)に開催された鵬友会関西支部総会の会場である、JR兵庫駅近くの居酒屋「入船」でした。

電話連絡で、参加・不参加の問い合わせがあったものの、二十数年も経過している為なかなか金子君の顔が思い浮かばず、参加するのを躊躇している。と、再度、再々度の誘いを受け、参加することになり、会場に到着した時に見せた金子君の微笑みを、今でも思い出します。

その後、前任の支部長である小原氏の後任として、支部長に就任してからは、行動を共にする事が多くなり、佐世保での役員総会に出席し、その後の懇親会で多くの同窓生に紹介をしてもらったり、また佐賀支部の総会に参加したり、熊本支部設立総会、宮崎支部設立総会にも参加し、何度山陽自動車道・九州自動車道を往復したことがありません。

その間の移動にしても、夜の十時に熊本市を出発し、翌朝五時に神戸市の地下鉄の番電車で乗車して、自宅に帰った時もありましたし、宮崎市からの帰りには、温泉に寄つてみたりと、今から思えば楽しい時間を過ごさせてもらいました。

また金子君の好意から利用させてもらっていた、兵庫県作用町の鵬友会関西支部セミナーハウスを拠点に、異

業種交流会、就職セミナー、各支部との交流会を開催し、美作三湯と呼ばれる湯郷温泉・湯原温泉・奥津温泉を巡ったり、その時には神戸牛の焼肉・ぼたん鍋・相生の牡蠣・ホルモン焼きうどん等、四季折々の料理を嬉々として贈う金子君の姿は、まさに「おもてなし」の心であり、「お接待」の気持ちを表していました。

平成二十六年九月二十一日、午前十二時二十三分、バーサルタクシーから、一通のファックスが届きました。いつもとは違う連絡の方法だなと思いつながら文面を読み始めた瞬間、まさに「時間」が止まりました。あの元氣っぱいの金子君がなくなつたなんて、想像も出来ませんでした。実際に棺の中の顔は、「ちよと寝過ぎしたな」と言いながら、今にも起き出して来そうなおだやかな顔つきでした。

平成二十七年一月十日、「鵬友会関西支部臨時総会及び金子君を偲ぶ会」を開催し、CFO「木野元朝幸(平成八年度卒)・COO「木野田博之(昭和五十六年度卒)・CEO「星憲夫(昭和四十七年度卒)を選出。これからは関西支部の活動を、以前にもまして活発に行いたいと思いますので、鵬友会各支部の方々にもご支援をお願い致します。



誓いも新たにスタートを。

関東支部

●支部長 小室 宏 (50年度卒)
0800・70005・6214
(自宅)
埼玉県飯能市美杉台1・20・15

海老原敬史さんを偲んで

一九六六年(平成八年)から、関東支部主催のOBセミナーや本部主催の佐世保セミナーで模擬面接官として活躍していただいた、前関東支部長の海老原敬史さんが昨年七月にお亡くなりになりました。

急な話で、葬儀に参列できなかった方がおられましたので、関東支部では年が明けた今年三月二十一日のお彼岸に都内で「海老原敬史さんを偲ぶ会」を開催いたしました。

関東支部の活動の基本はいつも「手づくり」。

今回、奥様からお借りしてきた遺影の周りを飾った生花のアレンジメントは、花やスポンジ、レース布といった素材を調達して、参列者が故人を偲びながら飾り付けました。

また、別室での会食は、永年の友である日氏を中心に長崎チャンポンと沖田下宿風餃子を、やはり参列者総勢で作り、そしていただきました。

天国の海老原さん、見て、そして味わっていただけましたか。

さて、関東支部には、というより私、支部長の小室には、やらなければいけない「宿題」があります。

それは、関東支部ホームページの活用(更新)です。

http://ho-yu.com/

自分でも本当に不甲斐ないのですが、東日本大震災の直後から更新はたったの一回のみ。

前任の管理者から「まかしとけ」と胸を叩いて引き継いでから、丸四年経つてしまいました。

ホームページを使つてやりたいことは山ほどあります。

関東支部のお金で、「ホームページビルダー」というソフトと教本を買つていただいています。

あとは、実行あるのみ。

おおよけの「同窓会報」から、決意表明いたします。

さて、全国の同窓生の皆さんにお願いです。

その更新される関東支部ホームページでは、二つの特集ページを設ける予定です。

ひとつは、「同窓生ゴルフランキング」。

関東支部のMさんから強い要請がありました。

各支部で行われているゴルフコンペの成績を元にして、全国に散らばる同窓生のゴルフの順位付けをしてください。

何年前のものでも結構です。

「氏名」「日付」「コース名」がわかつて、各支部長が認定したゴルフコンペのデータを、関東支部まで送ってください。

もうひとつは、「恩師消息名簿」。

こちらは、これから各支部で活発になると思われる「〇〇先生を囲む会」開催の為です。

基礎となる恩師の「氏名」「在任期間」「役職」は幸いにして、大学事務局を通して、過去の長崎県職員録をコピーしていただく手筈になつております。

つきまして、皆さんへお願いは、恩師ご本人またはご家族の連絡先(住所・電話番号・メールアドレスなど)をお教えください。

お教えいただきました恩師には、当方より連絡をとりまして、ホームページ上の名簿に載せて公開するご理解をいただきます。

動に参加されますことをお願いいたします。

私自身の体験で恐縮ですが、全国十二支部の全てを訪問させていただきました。すばらしい仲間たちとの出会い、「新しい人脈」を育み、卒業後、様々な業種に就く会員の「生き様」という「活きた人間学」を学ぶ最高の機会だと感じています。

このすばらしさを共有し、全国の仲間と手をつなぐために同窓会活動へ参加する会員が増加することを願っています。

平成二十七年八月には佐世保支部総会を予定しています。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

佐賀支部

●支部長 吉浦 啓介 (51年度卒)
0952・662・2109
(自宅)
佐賀県佐賀市大和町東田4・4・71番地

支部の今後は若い力との関わりが必要！

昨年十月に本部並びに九州各県支部からの「ご来賓」列席いただき佐賀支部総会を開催しました。「ご来賓」の皆様には公私ともお忙しい中、誠にありがとうございました。この紙面をお借りして改めてお礼を申し上げます。

佐賀支部総会は隔年で開催しており、支部会員約百名中、毎回二十名程度の参加です。参加者は六十歳を超えた方が大半で、年々高齢化が進行しているように思います。六十を超えたとは言っても二回目の就職・自治会活動、ボランティア活動など元気に活動されており、私もこの三月に定年退職をしましたが、これからの人生、先輩方の生きざまを大いに参考にさせていただきたいと思っています。

しかしながら、支部の今後を思うと三十代、四十代の会員の積極的な係わりが不可欠です。

私の場合、同じ職場の先輩の強引なまでの勧誘を断りきれずにずるずると支部活動に参加してきました。私の経験を踏まえてですが、人は年を重ねると私的な部分での行動範囲が少しずつ狭くなり、外部とのかかわりが億劫になりがちですが、ただ同じ大学の卒業生という共通点しかない先輩、後輩が損得抜きで交流をさせていただけの場合を持つことができるのはすばらしいことだと思います。煩わしいこともありますが、それ以上の何かがたくさんあります。

佐世保支部

●支部長 藤本 秀人 (51年度卒)
0956・34・8148
(自宅)
長崎県佐世保市天神町5・12・24



平成26年度佐賀支部総会

今後、各支部の取り組み事例も参考にさせていただき、少しでもたくさんの方が参加できるよう努めたいと思います。

最後になりますが、天津包子館の「餃子」とぼると総本舗の「ぼると」は卒後四十年の今でも私の定番です。「一緒に想い出を語りませんか」。

「鵬友会佐世保支部」設立から2年が経過して

鵬友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、平成二十五年一月二十三日

鵬友会ホームページを見えていますか？ 住所変更はホームページでOK！

現在、鵬友会のホームページは随時リニューアルし、最新情報が盛り沢山。デザインも、以前とは一味違ったホームページになっています。大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が一目で……。もちろん住所変更等にもご利用いただけます。

【鵬友会ホームページ】 <http://homepage1.nifty.com/ho-yu/>
【鵬友会メールアドレス】 ho-yu@nifty.com
【管理者メールアドレス】 komuro@ho-yu.com (小室 宏／関東支部)

メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで、平成15年7月の役員総会において、今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議いたしました。つきましては、会員の皆様はメールアドレスを管理者にお教えください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。また、登録メールアドレスの確認も含めて、この会報の届く直前に「会報発送メール」を送信しました。メールアドレスを以前に登録いただいている方で、未着の方は誤ったメールアドレスが登録されている可能性がありますので、再度お知らせください。

メールアドレスの管理者氏名／小室 宏／関東支部長・アドレス／komuro@ho-yu.com(ここにメールを送って下さい)

本部・支部の情報

●メールによる情報連絡の流れ

同窓会事務局又は各支部

メール

電子メールアドレス管理者

メール

鵬友会会員



海老原さんを同窓会で見送りました。

中国支部

●支部長 栗根 秀則
(59年度卒)

☎082・278・2635
(自宅)
広島県広島市西区井口5・2・52・701

『新規参加者』募集中、是非とも、ご一報を！

中国支部設立(平成三年十一月)から二十四年目に突入しました。設立当初、一期生・二期生の先輩方が中心となつて、福山市で旗揚げし、広島市、山口市、岡山市の拠点を作り、地区総会懇親会・ゴルフ親睦会等を開催して参りました。

直近では、平成二十七年一月に、福山市で期生の荻野幸信(昭和四十五年卒)先輩をはじめ七名の参加をもつて地区会を開催しました。

また、平成二十七年三月には、広島市で期生の中川清久先輩をはじめ七名の参加をもつて地区会を開催しました。

地区会では、教育問題・国交問題等の話題で熱い議論が交わされ、日常のサラリーマン生活を忘れ、学生時代を彷彿させるもので、緊張感が一瞬走りましたが、最後は「仲間は仲間」・佐世保への郷愁話で無事着地といったところです。

当支部の課題は、日本国と同じで高齢化が進み四十歳未満の若手の新規参加が少ないことであり、是非とも積極的な参加方、まずは「二報をお願いする」ものです。

今後の予定は、岡山市での地区会開催と中国支部の枠を越えて四国(松山市)で初の地区会開催に向けて準備する予定としております。

ベースとなる広島、福山、岡山の三拠点以外においては、地域分散小規

模開催最低三名以上の参加を目指すとして取り組んで参りますので、山陰地区・山口地区等で拠点担当事務局を引き受けていただける方も、是非ともお気軽にご一報いただきますようお願い申し上げます。

また、「ご意見」「要望」「情報」等含め何でもご連絡いただきますよう重ねてお願いいたします。



平成26年度
中国支部地区会



大分支部

●支部長 河野 昭治
(48年度卒)

☎090・8392・4208
(自宅)
大分県杵築市山香町大字武1736・1

佐世保が九州の西。国東半島は九州の東。

皆さん、お元気ですか。

今回、大分支部からは地域、地方といわれる「田舎」を紹介します。

それは「国東半島」(くにさきはんとう)、ちよūd、佐世保が九州の西。国東半島は九州の東です。

聖徳太子の「日出ずる国」とちよūdと鼻高い思いもないのですが、今の日本に残された宝を紹介したいのです。結論から言えば、地域に残された自然と融合した文化(ここでは神仏融合)と言っておきましょう。



平成26年度大分支部総会

日常の生活の中に祈りと生活があるのです。その中には敬・信・感謝・懺悔が根底をなします。世界に向けるものだと私は思います。

昨年からの地を歩く「国東半島ロングトレイル」が始まり、全長百二十キロもあります。私もガイドとして登録していますので是非お越しください。

それともう一つ「三浦梅園」です。我が支部の田邊副支部長の里でもある両子の賢人哲人です。田邊さんは行政書士事務所の所報の中で松園先生を尊敬しその教えを広めています。

このように鵬友会のメンバーは少なからず、自分の存する地で地方再生・活性を目指し活動をつづけていきたいものと思っています。世の中に何らかの影響を発信できる自分であり鵬友会員として生きていきたいと思っています。

東海支部

●支部長 中村 一
(48年度卒)

☎0587・59・6073
(自宅)
愛知県南海市高層町花戸33

第八回東海支部総会開催

東海支部は昨年五月十日(土)第八回東海支部総会・懇親会を名古屋国際ホテルにて開催致しました。

総会では

①平成二十五年活動報告(七月鵬友会役員総会出席、十二月佐世保セミナー三名出席他)

②平成二十六年活動予定③平成二十五年活動決算報告のご承認をいただき、無事閉会することが出



平成26年度
東海支部総会

お願い !!

事務局では日々名簿の更新を行ないながら、多くの会員の手元に届くよう努力しています。

卒業生の皆さん、鵬友会からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちよūtとした心掛けが、同窓会を応援しているのです。

長崎支部

●支部長 尼崎 彰
(60年度卒)

☎095・839・9556
(自宅)
長崎県長崎市かき通4・40・7

平成二十六年度 鵬友会長崎支部活動報告

平成二十六年度の長崎支部における活動状況ですが、まずは、七月十九日に「レオプラザホテル佐世保」で開催された鵬友会役員総会に長崎支部長が出席いたしました。大学関係者や鵬友会本部の方々及び他支部役員の皆様と交流を深めることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

また、十一月十五日及び十六日に開催された佐世保就職セミナーには、長崎支部からも二名が参加し、先生方とともに学生への面接指導等の就職支援を行いました。当日のセミナーの様子については、参加した会員から長崎支部の総会場で報告をしていただきました。

さらに、長崎支部では大きなイベントとなっている毎年恒例の総会・新年会を平成二十七年二月二十一日に長崎市「セントヒル長崎」で開催しました。当日は、大学から古河副学長に、本部からは藤木副会長にご出席いただき総勢二十七名の皆様と、懐かしい思い出や貴重な情報交換などで楽しいひとときを過ごすことができました。

今回の総会・新年会には、昨年度に引き続き福岡支部からも駆けつけていただき、また、おなじみの顔ぶれの方々に加え、初参加の方が四人参加していただくなど、たくさんの方の皆様に集まりいただき、大変賑やかな会となりました。



平成26年度
長崎支部総会

鹿児島支部

●支部長 濱田 一穂
(49年度卒)

☎080・2697・9977
(自宅)
鹿児島県鹿児島市豊後台3丁目43・12

第五回 鹿児島支部総会開催

鹿児島支部は発足してから六年になります。発足当初から多くの卒業生に参加していただき、和気藹々とした支部の運営ができていることに大変感謝しています。

今年三月七日(土)に、鹿児島市のホテルバレスイン鹿児島において、第五回鹿児島支部総会・懇親会を開催しました。

鵬友会本部より澁谷会長、大学より古河副学長をはじめ松下企画広報課長、佐世保、佐賀、熊本、宮崎の各支部からも参加して頂き、総勢四十数名の方々が出席していただき、楽しく開催することができました。

澁谷会長、古河副学長には鵬友会の現状や大学の現状についての報告を交えた挨拶をいただきました。特に学部の再編についての話では、「経済学部」がなくなるということで、参加者の間から様に落胆のため息が漏れているようでした。

「国際経済大学」、「経済学部」：社会が求める人材の育成という観点からは致し方ないことと思はれるけれど、やっぱりちよūdと寂しい昭和世代です。しかしながら、大学がますます社会の中でその重要性を増しながら発展するように段と協力していきたいと思っています。

総会では、二十五年・二十六年度の二年間の活動報告、会計報告、会計監査、および二十七年活動予定、

予算案などが審議され、すべて承認されました。総会終了後、参加者皆さんで記念撮影。



平成26年度
鹿児島支部総会

世代を超えた交流

総会も無事終わり、いよいよ懇親会です。

徳久副支部長の挨拶と、宮崎支部長砂原さんの音頭で懇親会がスタートしました。

今回より隔年開催ということで二年振りの開催になりましたが、参加された方々の嬉々とした表情に、開催準備にかけた苦労も吹っ飛んでしまい、そんな感慨に浸る瞬間でした。

発足当時から毎回参加されている方、今回が初めてという方、そして昭和から平成・二期生の大先輩から、この間、新しく社会人となられた卒業生の方、幅広い世代の方々に参加されました。面々はすでに学生時代にさかのぼり、サークルや下宿の話題で盛り上がり、時空を超えた話が盛んにおこなわれていました。限られた時間での懇親会でしたが、参加された皆さんが親近感、連帯感を感じられたのではないかと思います。

来ました。

また、懇親会では出席者が十名と少ないながらも大変盛り上がり、例年通り二次会へ全員が向い、更に親睦を深めることが出来ました。

なお今年度の支部総会・懇親会を五月九日(土)に開催しました。

今後多数の方のご出席を御願いたします。都合により参加されない方も支部組織の強化のため「返信」だけは必ず投函頂きますよう宜しくお願いします。



今後の取り組み

今回は、三百四十数名の方に案内状を送付しました。参加で返信があった方が五十名弱。不参加での返信が四十名強。宛名不明が二十名弱。半数以上の方が返信をいただけませんでした。皆さんがもっと楽しく参加できるように支部づくりに取り組んでいきたいと思っています。

また、同じ卒業年度の方、同じサークルの方、同じ職場の方などそれぞれで集まりを持つておられるようです。こうした方たちの情報をもとに、同窓会名簿をより精度の高いものに仕上げていきたいと思っています。

鹿児島県出身者はもちろんのこと、鹿児島県出身ではないけれど仕事で都会で鹿児島に居る、あるいは結婚して鹿児島市に居るという方ぜひ参加してください。

「今年たつても、仲間は仲間」卒業生の皆さんが世代を超えて、地域を超えて楽しく集る鹿児島支部を作っていきます。

鹿児島支部の次の総会・懇親会は平成二十九年の開催になります。改めて総会・懇親会の案内をいたしますので多くの皆さんが参加されるようお願いいたします。

宮崎支部

●支部長 砂原 俊秀
(49年度卒)

☎0985・56・7318
(自宅)

宮崎県宮崎市希望ヶ丘3・2・11

基本方針は「継続」と「拡大」

平成二十三年一月に立ち上げました鵬友会宮崎支部は、今年で五年目を迎えました。

これまで鵬友会の活動を支えてこられた諸先輩方のこれまでのご努力、功績と宮崎支部の皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

さて、昨年度の第四回宮崎支部総会より開催時期を年度終了後に変更いたしました。これまで毎年総会を開催していましたが、今後は総会開催の負担軽減とマンネリ化防止を目的に、隔年開催を次回役員会で検討することとしております。決定後は宮崎支部の皆様方にご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。

宮崎支部の基本方針は「継続」と「拡大」です。この四年間を振り返ってみますと、総会等の地区活動を地道に継続してまいりましたが、多くの卒業生の交流が今二歩であったように思われます。

宮崎支部の皆さん、年々宮崎県在住の卒業生も増えておりますので、皆さん一人ひとりのお力添えをお願いいたします。

また、これまでに総会に参加できなかった方も、是非一度遊びに来る感覚で総会に参加してみてください。旧友との、久しぶりの再会や新しい出会いがあると思います。

今後とも宮崎支部を宜しく願っています。

福岡支部

●支部長 荒木 崇
(H8年度卒)

☎090・7835・8401
(自宅)

福岡県福岡市博多区下見服町2・6・601

福岡支部五代目の支部長として頑張ります。

長崎県立大学佐世保校同窓会「鵬友会」会員の皆様、お疲れ様です。平成二十七年四月十八日に福岡支部総会にて支部長を拝命いたしました平成八年度卒経済学部流通学科の荒木崇でございます。

このたびは身に余る大任を仰せつかり、身の引き締まる所存でございますが、皆様のご期待に応えられますように取り組んでまいります。

福岡支部も歴代支部長である浦先輩、濱邊先輩、安田先輩、米村先輩から数えること私で五代目となります。これもひとえに何もないゼロの状況から鵬友会を立ち上げてくださった先輩方の努力の賜物だと思っております。

思い起こせば、私が入学した時は長崎県立国際経済大学から長崎県立大学になっておりました。色々と変革がある中、平成の卒業生として今度は自分が鵬友会を引き継ぎ、そして次世代に残していけるよう尽力してまいります。

鵬友会の裾野を広げていくためにも継続した参加者の増加を目指していき、しっかりとしたソサエティとしての鵬友会の確立を図りたいと考えております。

しかし、私一人の力では限界がございます。そのためにも鵬友会会員である皆様のお力をお貸し頂ければと存じます。

まだまだ、力及ばない点も多々

熊本支部

●支部長 藤本 典久
(62年度卒)

☎096・289・3202
(自宅)

熊本県上益城郡埴田町福岡818

第六回 鵬友会熊本支部忘年会開催

平成二十六年十二月六日(土)熊本市中心区安政町「瑞恵」において第六回鵬友会熊本支部忘年会を開催。

本部より藤本、千北両鵬友会副会長をはじめ、福岡・宮崎の各支部役員の方々からの参加をいただき、総勢三十七名が参加しました。

今回は設立総会から毎回参加されている方、初めて参加された若手や現役学生など、幅広い世代が集合して和やかな雰囲気の中での開催となりました。

冒頭に、当熊本支部発足以来尽力いただいている榊原顧問から「熊本支部忘年会をこのように盛大におこなえることを嬉しく思っています。若い二十代の男女の方々がこれほど多数参加されていることに、当支部のこれからの明るい未来を予感します。」

「今年たつても、仲間はずい」の精神で今後より一層支部を盛り上げていただきたい。」と、挨拶があり、忘年会がスタートしました。宴会が始まった当初は、世代ごとに分かれて雑談をしていた雰囲気があったが、やがて時間が経つにつれて世代間の垣根が崩壊、

まさに老若男女関係なく、宴会場全体が盛り上がり、なにか大きな一つの絆が作られた瞬間を感じました。

と同時に、これからの支部運営に対する益々の責任感と使命感を持ちましました。

あちらこちらで笑顔が飛び交い、冗談を言い合ったり、後輩に自分の武勇伝を語る先輩方、懐かしそうに在学中の下宿、部活、ゼミの話をする方達、それぞれに楽しい時間が過ぎていきました。

やがて終了の時間が迫り、最後に来年の再会を確認して忘年会をお開きにしました。この後、参加された多くの方が、三々五々にネオン瞬く街中へと消えていきました(笑)

最後に、本忘年会開催に当たり色々とお力添えをくださった顧問の方々、また遠方より出席いただいた本部各支部役員の方々、本当にありがとうございました。



平成26年度熊本支部忘年会

転居の際は必ず新住所を事務局へお知らせ下さい

郵便局の転送サービスで会報を受け取られた場合は、宛先不明では戻ってこないため、住所を変更されたことがわかりません。そのため転送期間終了後は、あらゆる情報をお届けすることが出来ませんので、転送サービスで届いた方は、事務局に必ずお知らせ下さい。



母学校舎建替が検討されている。

(長い歴史の正門。)

平成26年度 鵬友会本部活動報告

☆は支部応援活動

【平成26年】

4月3日 大学入学式 於:アルカスSASEBO 千北副会長

4月19日 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保

6月1日 会報「おおとり」vol.27発行 (10,724通)

大学広報誌「クローバー」も同封

6月7日 ☆熊本支部総会 於:熊本交通センターホテル 藤木副会長

6月22日 ☆関東支部総会 於:飯田橋・千代田区立富士見区民館

6月24日 大学就職ガイダンス講師 『企業・業界研究』 松本氏

6月28日 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保

7月19日 鵬友会役員総会 於:レオプラザホテル佐世保

本部役員・各支部長 29名出席 懇親会は大学来賓7名出席

7月28日 鵬祭実行委員会へ運営費援助

10月4日 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保

10月19日 ☆宮崎支部総会 於:ホテルメリージュ 藤木副会長

10月21日 大学就職ガイダンス講師 『エントリーシートの書き方』 中原氏

10月25日 ☆佐賀支部総会 於:佐賀ワシントンホテル 藤木副会長

10月28日 大学就職ガイダンス講師 『面接試験』 永嶋氏

11月15・16日 佐世保就職セミナー 於:長崎県立大学

学生150名、OB40名が参加

12月28日 ☆大分就職セミナー 於:大分センチュリーホテル

【平成27年】

1月17日 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保

1月31日 ☆長崎支部総会 於:ホテルセントヒル長崎 藤木副会長

3月19日 大学卒業式 於:長崎ブリックホール 滋谷会長

佐世保校卒業生へ卒業記念品(実用便利辞典)を贈呈

3月28日 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保

3月 経済学部合格者より同窓会費納入

平成26年度も各支部の応援を含め、多くの活動を行いました。平成27年度も各支部とのより深い連携を計りながら鵬友会発展のため活動を行います。会員皆様のご協力をお願い致します。

準硬式野球部、悲願の九州地区秋季大会初優勝

こんにちは長崎県立大学準硬式野球部4年主将の泊敬祐です。

長崎県立大学準硬式野球部は現在4年11人、3年6人、2年6人、マネ6人で練習を行っています。昨年、九州インカレ3位、秋季リーグ戦優勝、そして秋季九州大会初優勝という最高の結果を残すことができました。秋季九州大会初優勝の功績が認められ学長表彰を受賞することができました。

秋季大会一回戦は九州準硬式野球の王者九州産業大学でした。

相手投手の好投により6回までヒットが出ないという苦しい展開となります。

試合が動いたのは7回、先頭打者2番泊のヒットから松尾昂輝も連打で出塁、そして松本の3塁打で2点を先制し、続く水田の犠牲フライでさらに1点を追加します。しかし8回、9回ともにエラーの絡む失点で3-2、9回裏なおも2アウトランナー1塁というピンチでしたが、最終バッテリーをファーストゴロに仕留め、勝利となりました!先発の今西は154球の力投!完投勝利でした!

準決勝は九州共立大学で互いに投手戦となり、タイブレーク直前の12回を終わって両チーム0点という結果になります。

タイブレークとなった13回、死球による得点を許してしまいましたが、13回裏は山口のタイムリーヒットで同点に追いつきます。

14回表も、死球を与え再び逆転されるものの次打者を併殺で切り、14回裏、先頭バッテリー五貫が右中間へサヨナラタイムリー2ベースを放ち、両校の熾烈な投手戦を制しました。

エース松尾昂輝は、14回165球を投げ抜き完投勝利で決勝戦へと駒を進めました。

決勝戦は久留米大学で、初回到1点を先制されるもののその裏、打線が起動し一挙5得点を挙げます。2回にもタイムリーにより4点を追加し9-1とします。また先発の吉永、継投の平尾の下級生ながら気迫のこもった堂々としたピッチングにより、相手の強力打線を2点に抑え、10-2で勝利し長崎県立大学は悲願の九州地区秋季大会初優勝を手に入れました!!!

また、大会MVPには松尾昂輝(3年・長崎商業)が選出されました。

本学は今シーズン開催される、全国大会のかかった九州選手権大会の第一シードを手にし、新入生も含め毎朝大会に向けて頑張っています。

応援よろしく願います。



平成27年度予算（案）

(収入の部) (単位：円) 平成27年4月18日

	科 目	予算金額	備 考
1	会費（卒業生）	144,000	@12,000×12名
2	会費（新入生）	5,160,000	@12,000×430名
3	名簿代	-	
4	寄付金	300,000	
5	預金利息	1,500	
6	雑収入	170,000	
	(小計)	5,775,500	
	前年度繰越金	5,789,612	
	合計	11,565,112	

(支出の部)

	科 目	予算金額	備 考
1	鵬祭援助金	150,000	
2	卒業記念品代	240,000	
3	通信費	1,200,000	
4	人件費	900,000	
5	支部活動費	960,000	12支部
6	旅費交通費	300,000	
7	渉外費	70,000	
8	事務局費	100,000	
9	印刷費	850,000	
10	鵬友会基金特別積金	-	
11	留学生関係費	-	
12	会議費	80,000	
13	総会費	600,000	役員総会
14	雑費	10,000	
15	部活援助費	20,000	
16	就職活動援助費	100,000	
	(小計)	5,580,000	
	次年度繰越金	5,985,112	
	合計	11,565,112	

平成26年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位：円) 平成27年3月31日

	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	会費（卒業生）	192,000	144,000	@12,000×12名
2	会費（新入生）	0	12,000	@12,000×1名
3	会費（次年度新入生）	5,040,000	5,316,000	@12,000×443名
4	名簿代	0	5,000	@5,000×1名
5	寄付金	300,000	292,000	64名
6	預金利息	1,500	1,452	
7	雑収入	170,000	160,000	
	(小計)	5,703,500	5,930,452	
	前年度繰越金	5,398,016	5,398,016	
	合計	11,101,516	11,328,468	

(支出の部)

	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	鵬祭援助金	150,000	150,000	
2	卒業記念品代	240,000	237,800	
3	通信費	1,130,000	1,205,030	
4	人件費	900,000	872,340	
5	支部活動費	960,000	960,000	
6	旅費交通費	300,000	297,879	
7	渉外費	80,000	84,891	
8	事務局費	120,000	82,682	
9	印刷費	850,000	896,400	
10	鵬友会基金特別積金	0	0	
11	留学生関係費	0	0	
12	会議費	80,000	68,364	
13	総会費	600,000	545,776	
14	雑費	10,000	1,086	
15	部活援助費	20,000	0	
16	就職活動援助費	150,000	124,608	
17	会費返戻	0	12,000	
	(小計)	5,590,000	5,538,856	
	次年度繰越金	5,511,516	5,789,612	
	合計	11,101,516	11,328,468	

(収入の部合計) - (支出の部合計) = (次年度繰越金)
11,328,468 - 5,538,856 = 5,789,612

平成27年4月12日
鵬友会会長 澁谷 明幸

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。
会計監査 林 宏俊・岡 龍彦

平成26年度貸借対照表

(単位：円) 平成27年3月31日

資産の部		負債・資本の部	
現金	3,571	鵬友会基金特別積立金	6,000,000
普通預金	7,470,998		
定期預金	4,315,043	繰越金	5,789,612
合計	11,789,612	合計	11,789,612

平成26年度鵬友会基金特別積立金

(単位：円) 平成27年3月31日

項 目	入 金	出 金	残 高
期首残高	-	-	6,000,000
当期繰入	-	-	-
期末残高	-	-	6,000,000

平成26年度財産目録

(単位：円) 平成27年3月31日

預金種目	金 額	預 入 先
現金	3,571	
郵便貯金	0	佐世保西郵便局
普通預金	7,350,212	親和銀行本店営業部
普通預金	120,786	親和銀行相浦支店
定期預金	4,315,043	親和銀行本店営業部
(現預金合計)	11,789,612	
出資金	0	
合計	11,789,612	



鵬友会の同窓会活動を支えてください

鵬友会会員 1万3千名の同窓会活動費は終身会費で賄っており、終身会費は、概ね新入生の終身会費一括納入に頼っているのが現状です。同窓会活動は、就職セミナー、支部活動等年々活発化しており、その活動を支える同窓会活動費が逼迫してきています。終身会費を既に納入いただいた同窓の皆さんに寄付のご協力をお願いすると共に、終身会費を納めていただいていない同窓の皆さんには、是非この機会に納入をお願いします。出費多難の折とは存じますが、同窓会活動をご支援ください。

◆終身会費◆
12,000円(会費：1万円・入会金：2千円)
◆寄 付 金◆
金額は 3千円 5千円 1万円 それ以上は随意

※同封の振込用紙にて振込み下さい。
※申し訳ありませんが、払込手数料はご負担ください。払込手数料は、郵便局窓口は130円、5万円以上は340円、郵便局ATMは80円、5万円以上は290円となります。
★お問い合わせは事務局まで
TEL:0956-47-5146 (電話窓口:平日午前9時～12時まで) E-mail:ho-yu-@nifty.com

昨年度寄付のお願いを致しましたところ、多くの会員よりご寄付を頂きました。ありがとうございました。紙面を借りましてお礼申し上げます。鵬友会運営のためには皆様のご協力が必要です。引き続きよろしくお願い致します。

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会長 澁谷 明幸

寄付者名簿(H26.4～H27.3)順不同・敬称略

安部 勝己	日浦 淳子	中島 憲二	松岡 紀昭	林 直樹
岡本 啓文	横原 文男	大浦 倫子	横田 真央	本郷 太浩
金崎 公英	和田 直也	高橋 豊宏	藤本 典久	山田 登之
小島 直文	笠岡 一之	川上 陽介	松本 博幸	岡 孝次
迫田 有一	宮地 学	上田 正行	鵬友会ゴルフ	瓜生田憲治
太朗浦雪乃	高森平太郎	金子 順興	コンベ有志一同	岡部 繁
長神 英聖	柳 純	木下 秀一	浦 利三郎	龍造寺忠實
三津木英夫	松田 直樹	清田 健児	中島 勇	竹村 聖之
吉田 裕司	安永 憲一	近藤陽志夫	宮坂 崇	友廣 良満
徳久銀治郎	竹之下 博	千北 裕典	榎原 雄三	瀬口 卓也
宮田 慎吾	田岡 一樹	森田 浩二	堀 淳	
上坂 泰伸	時崎 茂	尼崎 彰	佐伯 雅典	
田中 一成	福浦みなみ	野間 健司		
田中裕一郎	松本 文昭	神藤 和彦		

寄付金合計
292,000円

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。